

# Q. 災害対策の準備は



おかじまさのぶ  
岡島政信 議員

OKAJIMA Masanobu

# A. 災害協定締結に向け調整中

9月3日(日)に、第44回豊山町総合防災訓練が実施された。この防災訓練は、町関係者だけでなく、警察、消防、自衛隊といった救助を担う関係者やライフライン関係者はもちろん、各小学校区の自主防災会や災害ボランティアコーディネーターなど、町民の有志の方々も参加される非常に有意義な訓練であった。そして、令和5年度の訓練では、これまでの「災害対応訓練」に加えて、隣国の状況を考慮した「弾道ミサイルを想定した危機対応訓練」も併せて実施された。

令和4年9月、町は、風水害や地震災害により居住する家屋を失った町民の方のために、愛知県住宅供給公社の管理する豊山住宅を活用する協定を結ばれた。この協定により、とても素晴らしい備えができたものと評価している。このように民間事業者や団体と協調して災害時の対策を整えておくことはとても有意義な取り組みと感じている。

豊山町総合防災訓練を終えての評価・課題などについて聞く。

**A 企画調整部長**  
総合防災訓練は、例年の南海トラフ巨大地震に加えて、国民保護計画に基づく武力攻撃対処行動の2つの災害想定のもとで実施した。訓練内容も、これまでの見学型から初期消火活動や避難所開設などの体験型へ変更し、約350人の方が参加した。

訓練に対する評価は、災害対策本部活動訓練において、より実践に近い内容とするため、役場会議室で図上訓練を行ったことで、初期期の災害対応の流れを確認できた。また、国民保護計画に基づく武力攻撃対処行動訓練も、警察、消防本部などによる避難誘導活動や、町民の皆さまに最低限取るべき安全確保など、実行動を通じてお知らせできた。

課題は、会場内の暑さ対策や防災広報啓発コーナーへの誘導が十分でなかったことや、事前説明・確認が不十分であったため、受付で一部混乱した場面があった。

現在、関係者などにアンケートをお願いしている。今後は、皆さまからの意見や感想、今回の訓練で得られた評価や課題を踏まえて、より実践的かつ効果的な訓練が実施できるように努める。

**Q** 町として、今後も事業者と協調して災害時の対策を準備する予定は。

**A 企画調整部長**  
本町は、災害時に必要な物資や資機材などを迅速かつ効果的に確保するため、これまでに、24件の災害協定を民間事業者や団体と締結している。

直近では、令和4年9月に愛知県住宅供給公社と豊山住宅の空き住戸等を活用する協定や、令和5年3月に株式会社社有電との資機材等の提供に関する協定を締結した。

今後の予定は、豊山住宅の空き住戸の一部を町の災害時必要物資の保管施設として活用する協定締結に向け調整を行っている。

引き続き、関連業者などと調整を図りながら、災害時対応協定の充実に努める。



新たに住宅供給公社と締結